



# 地域医療研修のまとめ

伊東市民病院 初期研修医 岡田暁生

# 一般外来実習 その1

- コモンな疾患で定期受診、内服の継続  
高血圧、糖尿病、高脂血症、痛風など
- 健診/検診異常の指摘、再受診  
血糖やコレステロールの異常など  
バリウム検査や内視鏡の異常など

# 一般外来実習 その2

- 初診患者、救急患者の対応

主訴は「**痛み**」が多い

頭痛、腹痛、胸痛、腰痛、肩痛など

経過観察可能な疾患から心筋梗塞や動脈解離など

**緊急性の高い疾患**まで様々！

# 一般外来実習 その3

- disease illness の違いを意識
- 診断だけではなく feeling に耳を傾ける
- person 家族背景や考えを意識
- 安心、納得して帰宅できるように

# 一般外来と救急外来の違い

採血と腹部CT精査

救急外来では「除外」を意識する

心窩部痛の鑑別 心筋梗塞？虫垂炎？憩室炎？

精査して緊急性が除外できたら

「今日は帰って大丈夫です。明日一般外来を受診してください」と説明し終了

# 一般外来と救急外来の違い

80代女性、同じ痛みを繰り返している、前かがみ

3日前から同じ場所がピンポイントで痛い

**虫垂炎を鑑別**する必要がある？

# 一般外来と救急外来の違い

救急外来では問診に長い時間をかけられない

様々な検査を駆使して除外することを考える

一般外来では問診に時間をかけられる

病歴から疾患をかなり絞り込める

# 老健実習 日勤・夜勤

- 入浴介助、爪切り、おむつ交換

生活動作と褥瘡など皮膚所見の確認

看護師、介護スタッフとの連携

- 食事介助

嚥下能力の確認、誤嚥防止



# 地域ケア会議実習

- 人生会議、ACP

治療方針にも関わって来るが認知度はまだ低い

どのタイミングで周知するか？

一律65歳以上？学生など若い頃から？

きちんと時間をかけて話し合いが行えるか？

# 保健相談センター実習 その1

- 六ヶ所村の人口構成（高齢化率27%）

企業誘致の関係で若者は多いが定住はしない

村内の結びつきは強く、みんなを支え合っている

- 健康増進のための政策

健康診断の受診や禁煙を進めるための補助

# 保健相談センター実習 その2

- 乳幼児健診

発育の確認、一連の診察を実践

乳幼児のみならず、母親の状況も確認

産後うつやDVの兆しなど、調査票や面談を通して

細かく評価していく

# ライフストーリーの聞き取り

- 90代の男性入居者（長年漁師をしていた）  
仕事の思い出を話すときは生き生きとしている  
施設入居が長くなっており、できれば家に帰りたい  
まずは魚を食べてお酒を飲みたい  
家で息子家族に看取ってもらいたい

# まとめ

- 地域医療を実践する上で必要な考え方を学んだ
- まだ答えの定まらない問題が多い
- 地域医療をこれから実践する中で考えていく